

議会だより

にらさき

第165号

2015年8月

第6回議会報告会	P2
第2回定例会（6月）	P2
第2回定例会議決結果	P4
ここが聞きたい（一般質問）	P6

第6回議会報告会を開催しました



各会場の開催状況です。

【写真左上】

7/3 荊崎地区報告会

【写真右上】

7/4 北西地区報告会

【写真左中】

7/4 穂坂地区報告会

【写真右中】

6/28 甘利地区報告会

【写真左下】

7/1 北東地区報告会

第 6 回 議 会 報 告 会

平成27年度議会報告会を6月28日から7月4日にかけて、市内5会場で行いました。

議会報告会は、地域の皆様と議員が直接お話できる大切な機会です。今回は、例年より早い時期での開催で、また雨の中での開催となった会場もありましたが、ご多用なところにも関わらず、皆様にご参加いただきありがとうございました。

今回の議会報告会には延べ268人の皆様にご参加いただきました。各会場の参加者の状況は次のとおりです。

葦崎会場28人 穂坂会場56人 北東会場63人 北西会場48人 甘利会場73人

なお、各会場に出席した議員は次のとおりです。

□**葦崎会場** … 清水 正雄議員〔班長〕、清水 一議長、秋山 泉副議長、岩下 良一議員、西野 賢一議員

□**穂坂・北東会場** … 小林恵理子議員〔班長〕、小林 伸吉議員、高添 秀明議員、宮川 文憲議員、守屋 久議員

□**北西会場** … 森本由美子議員〔班長〕、一木 長博議員、藤嶋 英毅議員

□**甘利会場** … 野口 紘明議員〔班長〕、輿石 賢一議員、清水 康雄議員、浅川 裕康議員

※清水一議長は、北東会場、北西会場及び甘利会場に、秋山泉副議長は穂坂会場にも出席しました。

各会場での報告事項

共通テーマ … 各会場での共通した報告テーマは次の2つでした。

□ **常任委員会活動報告について** □ **政務活動費について**

地区テーマ … 各会場の「地区テーマ」は次のとおりでした。

□ 葦崎地区

- ・街路灯、防犯灯について
- ・穂坂工業団地～双葉（市道穂坂97号線）道路計画について

□ 穂坂地区

- ・赤ワインの丘プロジェクト基本構想について
- ・主要地方道葦崎昇仙峡線の歩道整備促進について

□ 北東地区

- ・鳥獣害対策について
- ・塩川土地改良区ほ場整備区域内の水路の改良について
- ・農業基盤整備事業等の導入、市道（穴山）5号線の延伸について

□ 北西地区

- ・県営中山間地域総合整備事業について
- ・鳥獣害対策について
- ・通学路の安全対策について

□ 甘利地区

- ・鳥獣害対策について
- ・下水道事業の促進について

地区テーマの報告内容及び意見交換会等の状況につきましては、それぞれ地区ごとに概要としてまとめたものを別途地区回覧しますのでご覧ください。



第2回定例会

平成27年第2回定例会は、6月4日から22日までの19日間の会期で開催しました。

今議会では、一般会計補正予算や市条例の一部改正等、また6つの恩賜林保護財産区管理会委員の選挙、並びに請願や意見書の提出について審議しました。

なお、審議した条例等及び採決の結果は、4頁の「平成27年第2回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

【補正予算】

平成27年度一般会計補正予算（第1号）は、財務常任委員会で審査し、本会議において全員一致で可決しました。

補正前の予算額	130億7千万円
《補正予算額》	1,132万1千円
補正後の予算額	130億8,132万1千円

【条例の一部改正】

■国民健康保険条例の一部を改正する条例（議案第46号）

国民健康保険法の一部を改正する法律の施行により、本条例に引用している条項を整理するため、所要の改正を行う必要があるため提案され、可決しました。

■税条例の一部を改正する条例（議案第47号）

市民の健康増進を図り、もって観光の振興に寄与することを目的に、入湯税の税率の変更が提案され、可決しました。なお、この条例は本年7月1日から施行されました。

※入湯税は、温泉や鉱泉の入湯客に課税されます。温泉・鉱泉浴場の経営者等が、利用者に対して施設利用の料金とともに徴収し、その徴収した税金を市に納入していただいております。観光の振興（観光施設の整備を含む）、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設、その他消防活動に必要な施設の整備に要する費用に充てられます。

【人事】

次の各恩賜林保護財産区管理会委員の任期が平成27年7月7日満了となるため、新たな委員の選任について議会の同意を求める必要があるため、各管理委員会委員の選任に同意しました。

※^{おんしりん}恩賜林とは、明治末期に山梨県に下賜された山梨県内の旧御料林の通称です。現在は県有林で、管理の一部を恩賜県有財産保護組合などが行っています。

■第一鈴嵐恩賜林保護財産区 管理会委員の選任

（議案第48号）

矢崎 俊男 氏（神山町）
樋口 正幸 氏（神山町）
大村 金光 氏（神山町）
功刀 福幸 氏（神山町）
平賀 勝男 氏（若宮）
笹本 文人 氏（清哲町）

■第二御座石前山恩賜林保護 財産区管理会委員の選任

（議案第50号）

小澤 恒一 氏（清哲町）
横森 金藏 氏（清哲町）
中山 貞季 氏（中田町）
小川 龍馬 氏（中田町）
水上 晃治 氏（中田町）
高添 眞一 氏（中田町）
深澤 篤彦 氏（円野町）

■八森恩賜林保護財産区管理 会委員の選任

（議案第52号）

小澤 恒一 氏（清哲町）
横森 金藏 氏（清哲町）
中山 貞季 氏（中田町）
小川 龍馬 氏（中田町）
水上 晃治 氏（中田町）
高添 眞一 氏（中田町）

■第二鈴嵐恩賜林保護財産区 管理会委員の選任

（議案第49号）

駒井 英夫 氏（神山町）
功刀 徹郎 氏（神山町）
小屋 忠嗣 氏（本町）
小野 弘文 氏（旭町）
水川 敏 氏（竜岡町）
小林 里司 氏（清哲町）
清水 俊男 氏（大草町）

■旭山恩賜林保護財産区管理 会委員の選任

（議案第51号）

中込 祥彦 氏（旭町）
榊形 昭平 氏（旭町）
越石 義幸 氏（旭町）
笹本 勝造 氏（旭町）
久保田耕一 氏（旭町）
山本進一郎 氏（旭町）
湯舟 征夫 氏（旭町）

■戸沢日影半腹裾恩賜林保護 財産区管理会委員の選任

（議案第53号）

秋山 忠 氏（円野町）
内藤 良定 氏（円野町）
細田 徳宏 氏（円野町）
日下 覺 氏（円野町）
渡邊 美邦 氏（円野町）
山本 義武 氏（円野町）
山本 雅教 氏（円野町）

請願

☆請願第26-7号

誰もが安心して老後をくらす最低保障年金制度の創設を求める請願（継続審査案件）

本請願は平成26年第3回定例会（9月）から市民生活常任委員会で継続審査されていましたが、今議会の委員会で不採択とすべきものと決めたことが報告されました。

本会議において、採決の前に採択を求める立場、不採択とすべき立場から討論が行われ、採決の結果、不採択と決しました。

☆請願第27-2号

安全保障関連法案の徹底審議を求める請願書（新規案件）

提出者◇進歩と革新をめざす荏崎の会
◇荏崎市9条の会

委員会付託先：総務教育常任委員会
委員会の審査結果：継続審査

意見書

■安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書（議第2号）

国民にわかりやすく、丁寧な説明をすると同時に、国会で時間をかけて慎重審議を重ねていくことを求めるため、議員発議で意見書を提出することの提案がされました。

本会議において質疑の後、採決の前に、国会での徹底、慎重審議を求める意見書の提出には賛同するものの、意見書の記載内容が不十分なことから賛成できない立場、今国会で審議されている法案であり、議員提案で慎重審議を強く求める立場から討論が行われ、採決の結果、可決しました。

なお、意見書は議会の意思として、内閣総理大臣ほか関係大臣及び衆参両議院議長に提出しました。

安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

国において審議されている、武力攻撃事態法や自衛隊法の改正などのいわゆる集団的自衛権の行使を可能とする「平和安全法制整備法案」と国際社会の平和や安全に貢献する「国際平和支援法案」の2本の法案を含める安全保障関連法案は、日本の安全保障政策に関わる重要な法案である。

国民は、憲法の解釈、国際・社会情勢の変化に応じた法律の運用など、国の審議の動向を注視している。報道機関の世論調査で、本法案への反対意見が多いのは、国会での論議及び審議状況の公開、説明等が十分ではないことから、国の安全並びに国民の安心な生活への不安及び危機感が拭い切れず、理解が得られていないからである。

世界の平和と安定に貢献しなければならない日本の未来のため、国民の安心・安全な生活を引き続き確保していくための重要な法案であるので、慎重審議を重ね、国民にわかりやすく、丁寧に説明していくことを強く求める。

以上の趣旨から地方自治法第99条の規定により関係機関へ意見書を提出します。

荏崎市議会

平成27年 第2回定例会議決結果一覧表

■賛否のあった議案

○賛成 ●反対（清水一議長を除く）

議案番号	件 名	浅川 裕康	守屋 久	宮川 文憲	高添 秀明	清水 康雄	西野 賢一	小林 伸吉	奥石 賢一	秋山 泉	岩下 良一	森本 由美子	野口 紘明	藤嶋 英毅	一木 長博	清水 正雄	小林 恵理子	結果
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	承認
請願第26-7号	誰もが安心して老後をくらせる最低保障年金制度の創設を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	不採択
議第2号	安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	●	可決
	閉会中の継続審査について（総務教育常任委員会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	継続
	閉会中の継続審査について（産業建設常任委員会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	継続

■全会一致の議案

議案番号	件 名	結果
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度一般会計補正予算（第6号））	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（職員給与条例の一部を改正する条例）	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（税条例等の一部を改正する条例）	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて（訴えの提起について）	承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて（訴えの提起について）	承認
報告第8号	平成26年度一般会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額の報告について	了承
報告第9号	平成26年度介護保険特別会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額の報告について	了承
報告第10号	平成26年度一般会計歳出予算に係る事故繰越額の報告について	了承
議案第45号	平成27年度一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第46号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決

議案番号	件 名	結果
議案第47号	税条例の一部を改正する条例	可決
議案第48号	第一鈴嵐恩賜林保護財産区管理会委員の選任について	同意
議案第49号	第二鈴嵐恩賜林保護財産区管理会委員の選任について	同意
議案第50号	第二御座石前山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について	同意
議案第51号	旭山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について	同意
議案第52号	八森恩賜林保護財産区管理会委員の選任について	同意
議案第53号	戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区管理会委員の選任について	同意
	閉会中の継続審査について（市民生活常任委員会）	継続
	閉会中の継続審査について（財務常任委員会）	継続
	閉会中の継続審査について（議会運営委員会）	継続

【表彰の伝達】

本定例会で表彰状、感謝状を伝達しました。

■全国市議会議長会 感謝状

- ・全国市議会議長会評議員として、会務運営に功績のあったもの

清水 一 議長

■山梨県市議会議長会 感謝状

- ・市議会正副議長の職にあったもので、山梨県市議会議長会会員として功労のあったもの

西野 賢一 議員

■山梨県市議会議長会 表彰状

- ・通算2年以上市議会議長の職に就任したもの

清水 一 議長

- ・15年以上市議会議員であるもの

一木 長博 議員

委員会活動報告

総務教育常任委員会

〔6月定例会会期中の委員会〕

6月18日開催（出席議員6人）

■主な審査事項

- 請願第26―8号…消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願（継続審査案件）
- 請願第27―11号…政党助成金の廃止を求める請願（継続審査案件）
- 請願第27―2号…安全保障関連法案の徹底審議を求める請願書（新規案件）
- ・ 右の3請願は、挙手多数で継続審査案件とすることに決しました。

〔現地視察〕 5月19日実施（出席議員6人）

- 韮崎小、韮崎北東小、韮崎北西小及び韮崎東中学を訪問し、施設の管理状況の視察、並びに教職員と意見交換を行いました。
- 学校視察後、市立図書館を視察しました。館長から図書の管理や図書館の利用状況などについて説明を受け、意見交換を行いました。



「韮崎市立図書館」視察

市民生活常任委員会

〔6月定例会会期中の委員会〕

6月18日開催（出席議員6人）

■主な審査事項

- 議案第46号及び47号
- ・ 右の2議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。
- 請願第26―7号…誰もが安心して老後をくらせる最低保障年金制度の創設を求める請願（継続審査案件）
- ・ 右の請願は、全員一致で不採択とすべきものと決しました。

〔研修会〕 5月15日開催（出席議員5人）

- 委員会委員研修会として行いました。当日は、最低保障年金制度と認知症について資料を持ち寄り、現状や課題、今後の活動のあり方などについて論議し、見識を高めることに努めました。

産業建設常任委員会

〔6月定例会会期中の委員会〕

6月18日開催（出席議員5人）

■主な審査事項

- 請願第26―2号…労働者派遣法の改悪に反対する意見書の提出を求める請願（継続審査案件）
- 請願第26―3号…「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願（継続審査案件）
- ・ 右の2請願は、挙手多数で継続審査案件とすることに決しました。
- ・ 所管する行政事項の一つで、穴山町内で計画されている産業・一般廃棄物中間処理施設について事業の経緯や現状等の報告を受け、今後も設置事業に係り、県、市、地元が連携を取って、地域の生活環境を守る取り組みを進めていくことを確認しました。

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

10人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。

詳細な内容は、“[蕪崎市ホームページ](#)→市議会→会議録検索”でご覧いただけます。録画中継も配信しています。



西野 賢一 議員
[蕪政クラブ]

その他質問

◆上ノ山・穂坂地区工業団地について

蕪崎市立病院の駐車場について

質問 外来患者の多い時間帯を見ますと、駐車場の確保は喫緊の課題と捉えています。

蕪崎警察署が甲斐市に移転することは大変残念ですが、移転後の跡地の払い下げを受け、来院者のための駐車場用地として活用することはいかがでしょうか。

答弁市長 先般県議会において、市外に移転新築する方針が示されたところではありますが、移転時期等は未定とのことでありました。

議員ご提案の市立病院駐車場としての活用も、有力な活用策の一つであると考えていますので、今後、移転時期などの情報収集に努めるとともに、具体的な活用方策について検討していきます。

東京エレクトロン蕪崎文化ホールについて

質問 指定管理者の一般財団法人武田の里文化振興協会が、懸命な運営をされているが、今年度で指定管理の契約が満了となり、新たな契約について検討する時期ですが、今後の指定管理者の選定についてどのような対応を考えておられるのか。また、建物本体、放送、照明設備等についても更新が必要ではないかと感じていますが、建物並びに放送、照明等の施設設備の状況と今後の修繕計画について伺います。

答弁教育長 指定管理者の契約については、法令に基づき、公募による選定を行っていきます。また、建物、設備等の現況については、改修計画により順次進めており、本年度については、大ホールの照明設備の更新を予定しています。

交通網の拠点となり得る蕪崎市の展望について

質問 現在整備が進められている中部横断自動車道、新山梨環状道路、また中央道小仏トンネル付近の渋滞解消などを考えると、本市は主要道路の交差点となり、ハブ化都市蕪崎として、物流の拠点、企業立地、観光、定住・交流人口の増加等々の様々な観点から、さらに大きな発展が見込めます。今から総合的にプロデュースし、「赤ワインの丘プロジェクト」を含めた中で、今後の蕪崎市をデザインしていくことが大切だと思います。交通網の拠点となり得る蕪崎市の今後の展望について、市長の考えをお聞かせします。

答弁市長 交通アクセス網を活かし、物流を中心とする拠点となり得ることとは本市が持つ大きなポテンシャルの一つであると考えています。総合戦略の柱である「赤ワインの丘プロジェクト」の推進や企業誘致においても、交通網の拠点、ハブ化という考え方を進めることは重要と考えていますので、引き続き研究、検討していきます。



浅川 裕康 議員
[荏政クラブ]

その他質問

- ◆市職員人事基準及び異動時の引継ぎ要領について
- ◆「戦国ヒルクライム in 荏崎甘利山」について
- ◆「荏崎市健康ふれあいセンターゆ〜ぶるにらさき」の利用実態について

空家等対策の推進に関する特別措置法について

質問 本市の実施体制の整備の状況はいかがか。
具体的には、協議会を設置するのか、また住民からの相談体制の整備がどのようにになっているのか伺います。

荏崎市長 特別措置法や同法の基本指針の内容を踏まえて再検討を行い、これまでの経緯を重視し、今後も環境課を主管課として、関係各課が連携して対応します。

なお協議会の組織化については、手続きの透明性及び適正性が求められるため、協議会を設置すべきと考えています。また、相談体制については、環境課を窓口とし、内容に応じて関係各課に引き継ぐこととします。

質問 協議会の設置時期はいつ頃を予定しているのか伺います。

荏崎環境課長 協議会の委員となる方の職種及び人選、並びに協議会で検討する内容及び関係各課の調整を考えますと、本年9月頃の設置を予定しています。

質問 市内の実態、対象物件の把握が進んでいるのか、そのうち通学児童に危険を及ぼす恐れのある箇所の把握が進んでいるのか伺います。

荏崎市長 実態把握の進捗ですが、平成25年度に実施しましたが、今後、国のガイドライン等により、改めて市全域を対象として調査を行う予定です。

また、管理不全な空き家起因する通学児童への危険が懸念される箇所の把握については、教育委員会より1力所の情報提供があり、当該物件は、現在権利関係者間で解決に向けて協議中です。

質問 同法は、空き家等の利活用の促進もその目的としています。本市において既に空家バンク制度と

の連携を図っていくのか、あるいは新たに利活用の一つの手段として、空き家を公営住宅へと転用した上で、移住・定住者に対するなどの助成手段の一つとするなどの方法が考えられますが、本市の見解を伺います。

荏崎市長 空き家の状況を担当間で共有し、利活用が可能と思われる空き家は、空き家バンク制度への登録を促進します。なお制度の周知を図るため、地区説明会を実施します。

また、公営住宅への転用による利活用は、現在公営住宅、定住促進住宅に空き家があることから考えていません。

質問 同法の施行で、本市において条例化を進めていくのか伺います。

荏崎市長 今後、発生の予防、利活用の推進や緊急安全措置等、市民の生活環境の視点から、条例を制定していきます。



高添 秀明 議員
[荏政クラブ]

その他質問

- ◆若者の生活環境の整備について
- ◆子育て支援について
- ◆中小企業の育成について
- ◆新府城跡の整備について

若者の出会いの場の提供と結婚相談所の復活について

質問 昨年から本年にかけて、本市や各種団体が実施した婚活イベントの実施状況を伺います。

荏崎市長 昨年から本年にかけての開催状況は、本市が4月に主催した「武将で恋活」には30名のご参加をいただきました。また本市も会員である「やまなし縁結びサポーター」への登録団体が開催するイベントの実績については、実施回数が297件、参加者数が6,456名であり、カップルの成立は500組です。また委託なども踏まえた婚活イベントについては、本年度、初の試みとして「やまなし縁結びサポーター」に登録する団体と婚活イベントの開催に向けて、実施回数や経費の助成などの協議を行っています。

質問 県で実施している「婚活やまなし」や他市の結婚相談所システム等を参考にして、結婚相談所を復活すべきです。見解を伺います。

荏崎市長 結婚相談所については、これまでの成果などにより廃止されたものの、当面は婚活イベントなど多彩な婚活事業に取り組む考えです。

雇用の場の確保について

質問 若者が出会い、結婚し、子育てをするには、働く場が必要です。市長の公約の一つで、「元気で豊かなまち荏崎の実現のため農・商・工並びに産・学・官の連携により、産業の充実を図る」とある中の「農・商・工」で最も力を入れる部門、また早急に充実を図る必要があると考えている部門は何かを伺います。

荏崎市長 公約に掲げた

教育環境の整備について

質問 既に教育環境整備計画を策定している自治体があります。本市においても、全国に誇れる教育環境を整備し、若者子どもは荏崎で教育しようと思える教育環境を整備すべきです。見解を伺います。

荏崎教育長 本市では、これまでも小・中学校の全ての教室にエアコンを設置するなど、ハード面での整備を図るとともに、ソフト面では、ハイパーQ U検査を実施し、児童・生徒の内面的な面からの支援や、ICT機器を活用した授業の実施、本年度からは英語教育強化地域拠点事業に取り組むなど、先進的かつ積極的な教育環境の整備を行っています。今後も、ふるさとに誇りを持てる教育環境の整備について、なお一層努力します。

「元気で豊かなまち荏崎の実現」を目指す上で、「農・商・工並びに産・学・官」が相互に連携することが極めて重要なもので、全ての部門に力を注ぎ施策の充実が努めます。



清水 正雄 議員

[共伸クラブ]

その他質問

- ◆上ノ山・穂坂地区工業団地の活用について

区からも選ばれていない。委員を増やす考えは。 答：企画財政課長

人口減少化対策について

【質問】 地方が自ら考え、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、責任を持って推進することを国は要求している。市の策定の進捗状況を伺う。 また縦割り行政が危機感の共有、責任の希薄などの障害にならないか心配するが、縦割り行政の弊害をどう解消する考えか。

【答】市長 現在、「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会」を立ち上げ、戦略策定の柱となる4つのチームを設置し、横断的な計画策定のため、市職員が計画策定の過程で連携できる体制の構築を図りました。また創生交付金を活用した創生事業にも着手しています。

【質問】 総合戦略の柱と位置づけた赤ワインの丘関係者が審議会委員に一人も入っていない。また移住者に人気のある穂坂地

農商工連携について

々の状況において委員の見直しは可能です。

【質問】 田舎で起業したい人に、開業資金や固定資産税の減免をもって支援する条例制定の考えは。

【答】市長 本市独自の支援策として「起業支援助成金交付要項」を策定することになりました。

【質問】 観光まちづくりに係わり、本市の通過型観光地を農業を素材とする様々な体験を組み入れ、宿泊につなげる滞在型観光地への転換の考えは。

【答】市長 体験型観光の一翼を担っていたいている団体があるので、連携を図り、滞在型の可能性を研究していきます。

【質問】 今取り組んでいるのれんやビンゴなどの事業が商店街の未来にとって意義があり、持続・繁栄の成果は高まったのか。市の職員は街に出て現場

の意見を聞くべきでは。

【答】市長 消費者や店主の意見を尊重しながら三者が改革の意識をもって事業に取り組む必要があります。職員も日頃からまちに出向き、情報収集に努めます。

上ノ山地区市道整備について

【質問】 上ノ山区民の合意のもと、バイパス案設置の方向で進んでいましたが、現道拡幅案も浮上しているとのこと。市道整備の見通しは。

【答】市長 今年1月の臨時総会において、従来どおりのバイパス要望と、市内で現道に近づけるルート変更の2点を全会一致で承認いただきました。本年度、概略設計を発注したところであり、平成28年度からの国庫補助採択を目指しています。

太陽光パネルの設置について

【質問】 パネル設置が土砂災害を誘発することや自然景観を阻害することを危惧するが規制は。

【答】市長 上位法令を含め現行では、景観保全のため設置自体を規制することは難しい状況です。



岩下 良一 議員

[共伸クラブ]

その他質問

- ◆空き家対策について
- ◆建設業者指名の選定基準について

議員がおっしゃるような大きな規模な開発業者とか、統合する役割の企業あるいは人物が必要ではないかと考えています。

赤ワインの丘プロジェクト基本構想について

【質問】 基本構想を具体化していくため、市として商工会の策定した構想に沿って事業展開していくのか、また県営事業の失敗事例を参考にしながら、将来、市民の負担にならない方法を講じ、農商工連携による組織形態を考えるべきと思いますが考えを伺います。

【答】市長 プロジェクトの推進については、市内の関係課で推進チームを立ち上げ、先行するワイナリー施設の誘致に向けて企業及び地元と協議しています。

【質問】 大手企業との取り組みで、リスクを回避することが必要だと思いますが考えを伺います。

【答】市長 プロジェクトは複数の事業の集合体で、いわば指揮者のような役割が重要と考えています。

県立高等専門学校の市内への誘致について

【質問】 県内外から人材を集め、養成する高等専門学校への誘致を知事に働きかけることを強く望みますが考えを伺います。

【答】市長 本市の企業活動の活性化、企業誘致の推進においても人材の確保が重要課題なので、県の動向を情報収集し、関係部署との連携を図り、本市への誘致に向け積極的に働きかけていきます。

介護保険料負担の見直しについて

【質問】 保険料徴収の所得区分は前年度まで7段階のもの本年からは10段階に改正されました。今後、要介護認定者が増え介護保険給付費のさらなる増加が見込まれます。

保険給付費の確保のため、500万円以上の高所得者には財源確保に協力願うため、次の改定時には他市の事例を参考に、きめ細かな所得区分を設定する制度改正を検討されるよう提案しますが考えを伺います。

【答】市長 議員ご提案の10段階以上の保険料の設定は、次期計画策定時に検討していきます。

防音装置付の多目的施設整備について

【質問】 伝統芸能を守り15名程で和太鼓を演奏するグループの方から、市内に練習場が無く、近隣他市の施設を借りて太鼓練習をしている。また二コリを使用している社交ダンス愛好会の方からも練習場が狭いとの声があります。高齢化が進展する中、医療・介護給付費の節減を図るためにも、健康で活力のある人々を支援する施策が必要と思いますが考えを伺います。

【答】市長 和太鼓の練習場は勤労青年センターを解放しています。さらに広いスペースの練習場所の確保については、地域体育館等の周辺環境の条件により検証します。



興石 賢一 議員
[共伸クラブ]

その他質問

◆市の監査委員について

喫煙者も
周りの人
に迷惑が
かかって
います。
必要と思
います。

買物弱者対策につ いて

質問 昔は一つの集落に1軒ぐらい商店がありましたが、今では一つのまちにすら商店が無い状況です。地域の高齢者も大変ご苦労されていますが、その対策の一つとして、移動販売車はおおいに喜ばれていますが、利用者からさらなる要望等があるのか伺います。

答市長 移動販売車に

対する利用者からの要望等については、感謝の声や継続を望む声に加え、移動販売区域の拡大や店舗と同様の特売セルの実施及び高齢者向けの商品、野菜や雑貨品などの充実に対する要望が寄せられています。

庁舎内禁煙につ いて

質問 庁舎には多くの人が来られ、たばこを吸わない人に迷惑のかからな

い喫煙場
所を設け
る配慮も
必要と思
います。
喫煙者も
周りの人
に迷惑が
かかって
います。

いることは十分承知して
います。きちっとした喫
煙所を設けるべきと思
いますが考えを伺います。

答市長 本市では、受
動喫煙防止対策の一環と
して庁舎屋内を全面禁煙
とし、屋外に5力所の喫
煙場所を設けていますが、
受動喫煙の危険性を完全
に排除できていないわけ
ではありません。官公庁で
は、敷地内を全面禁煙に
することが望ましいとの
国・県の指導もあるので、
庁舎敷地内の全面禁煙も
含め、受動喫煙の防止に
向けた対応策を検討して
いきます。

政治家の若年化に ついて

質問 若い人たちの政治
離れが進み、選挙のたび
に投票率も下がり、将来
を心配しています。私は、
まちづくりには若い働き
盛りの人たちの視点が常
に必要と思っていますが、
年齢階層によって報酬月

額の支給額に格差をつけ
るなど、若い人たちが議
員になれる環境づくりが
必要と思いますが、見解
を求めます。

統合により廃園に なった保育園の利 活用について

質問 今回の統合で竜岡
旭、円野の3園が廃園に
なりました。地域では今
後の跡地利用が話題にな
ることがありますが、今
現在の考えがありましたら
お聞かせ願います。

答市長 土地、建物に
ついては、昨年、地元地
域から幾つかの利用提案
を受けたところです。先
月、その要望等も含め基
本的な方向性について庁
内協議しましたが、意見
集約等に地域差もあるの
で再度地域の意向を確認
した上で、活用方針を
決定していく考えです。



小林 伸吉 議員
[公明党]

その他質問

◆空き家対策について ◆ふるさと納税につ いて

生活困窮者対策につ いて

質問 はじめに生活困窮
者の支援について伺いま
す。生活に困窮する人を
生活保護に至る前の段階
から支え、自立できるよ
うに積極的に後押しする
生活困窮者自立法が本年
4月から始まりましたが、
次のことについて伺いま
す。

1. 本市では、生活困窮
者自立支援法の自立相談
事業、居住確保給付金の
支給の必須事業と就労準
備支援事業、一時生活支
援事業、家計相談支援事
業等の任意事業をどの程
度実施しているのか伺い
ます。

2. 以前、NPO法人
フードバンク山梨が本年
度から活動を休止するよ
うな報道がありました。
その後の状況と、このよ
うな生活支援を他市にお
いては市独自で行うとの
報道もありました。本市

の考えを伺います。

答市長 先ず、生活困
窮者自立支援法に基づく
必須事業については、自
立相談支援事業等を実施
しており、任意事業は、
生活困窮者の様々なニ
ーズを把握する中で今後検
討していきます。

次に、NPO法人フ
ードバンク山梨の生活困窮
者への食糧支援について
は、職員等が出向けば従
来どおり食材の提供をい
ただけるとの方針を伺っ
ています。

質問 次に子どもの貧困
について伺います。

昨年1月、子ども貧困
対策法が成立しました。
8月には子ども貧困対策
大綱を閣議決定し、各都
道府県は貧困対策計画を
まとめる努力義務が課せ
られました。子どもの貧
困を解決するには、税制
をはじめ、様々な支援が
必要であり、福祉、教育、
保健など多くの分野で横
断的な政策を打ち出せる

自治体の役割が大きいと
考えます。そこで、次の
点について伺います。
1. ひとり親家庭の親の
就職支援など、子どもの
貧困と関わる所得、資産
の格差解消に向けた取り
組みについて伺います。
2. 生活困窮者自立支援
制度では、子どもの学習
支援が自治体の任意事業
に組み込まれました。市
の取り組みについて伺
います。

答市長 先ず、子ども
の貧困は子どもの健やか
な成長を阻み、教育の機
会均等を損なう現状があ
ります。その中で、母子
家庭等への高等職業訓練
促進給付金事業やひとり
親家庭支援事業、小・中
学校における就学援助制
度などの対策を講じてい
ます。今後、県が策定を
進めている子ども貧困対
策計画と連携を図り、事
業を検討していきます。

次に、貧困による負の
連鎖は学歴と相関関係が
あり、高校などへの進学
を通じて、安定した就職
に結びつけていくことが
重要であると考えていま
すので、子どもの学習支
援については、関係機関
と協議していきます。



森本由美子 議員
[公明党]

その他質問

- ◆生ごみの処理対策について
- ◆中学生のスクールバスの活用について

一般不妊治療への
助成について

質問 現在、県では特定不妊治療支援事業として体外受精及び顕微授精を行った場合、1回の治療に対し上限15万円を助成し、さらに本市で上限10万円の上乗せをして助成していますが、この体外受精に至るまでには不妊検査をして、タイミング法や人工授精という一般不妊治療を経る必要がありますが、身体的、精神的、さらには、経済的にも非常に大きな負担があります。我が子が欲しいと願うご夫婦の背中を押してあげるためにも、一般不妊治療の助成をすべきと考えますが。

答弁市長 妊娠を望む夫婦への経済的支援の一助となるよう、また、人口増加対策として実施に向けて検討しています。

不育症治療への支援について

質問 不育症とは、2回以上の流産、死産等がある場合と定義されています。原因は様々ですが、検査と治療をすることで85%の不育症患者が出産に至ることができると報告されています。一般不妊治療同様、種々負担が大きいので、県の助成に上乗せをして助成をすべきと考えますが。

AEDの活用について

質問 市のホームページでは、公共施設と併せて一か所の市内民間事業所でのAEDの設置が公表されていますが、さらに提供していただける事業所を調査して公表すべき

と考えますが。

答弁保健課長 社員以外の使用についての協力をお願いし、近隣の住民等の使用に賛同をいただける企業をホームページに掲載していきます。

午頭島公園を魅力
ある交流の広場へ
について

質問 午頭島公園は、山梨県自然環境保全条例で自然環境保全地区に指定されている公園です。企業や市民による美化活動が行われていますが、最近、施設の老朽化が否めません。樹木の根が張り出して歩道の舗装を傷めたり、伐採後の樹木や枝等が放置されて、自然公園の美観を損ねています。遊歩道や花壇の整備、高齢者等が利用できる健康遊具の設置、また子どもが安心して遊べるよう、堤防に沿った景観を損なわない防護柵の設置など、子どもから高齢者が毎日歩きたくなるような魅力ある公園にしていきたいと思います。

答弁市長 開設当時とは住民ニーズも変化していますので、景観保全や施設の充実については、許可条件の見直しも含め研究していきます。

戦争と平和に関する
市長の見解

質問 政府は、今通常国会に、「平和安全法整備法案」と「国際平和支援法案」を提出しました。5月22日開催の東北6県市町村長9条の会連合は第2回総会で、首長、首長経験者が33人参加し、「憲法9条を守り戦争法案に反対する緊急アピール」を採択しました。

同アピールは、市町村民の命と暮らしを脅かす最大のものは戦争だと強調し、安倍政権の戦争法案の国会提出を「日本国民を戦後最大の危機に陥れ、解釈改憲によって平和憲法を有名無実化するもの」と批判し、全国の国民と都道府県知事、市区町村長らに戦争する法案に反対する運動への参加を呼びかけています。日本弁護士連合会等、多数の団体が反対し憲法に違反するとの認識を表明



藤嶋 英毅 議員
[経世クラブ]

その他質問

- ◆国の農業政策について
- ◆ふるさと納税者への返礼で梨北米コシヒカリの宣伝を
- ◆松くい虫防除事業について

した憲法学者もおります。国民の多くが反対、あるいは慎重審議を求め、反対行動を起こしているのが現状です。戦争が平和かの選択が迫られています。韮崎市政執行の最高責任者として市長はどのような考えを持っておられるのかお示しください。

答弁市長 平和安全法制の安全保障に関わる大変重要な法案なので、国民の皆様へ充分な説明がなされるとともに、国会において充分な審議が行われることを望むものです。

親子で平和の話し合いを

質問 「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンは、あの悲惨な戦争を反省し、日本国民を二度と戦争に参加させないという学校現場の悲愴な目標でした。それはまた平和を願う日本国民の悲願でもあります。さて、2014年度・第34集「北巨摩の教育白書」によれば「親子で戦争や平和について話し合う」という問いで、「よく話し合う」、「時々話し合う」が引き続き減少し、平和や安全に対する意識が弱くなっていることが指摘されています。戦争を体験し、悲慘さを知る国民が少なくなってきたおり、子どもと大人が戦争や平和について話し合うことは重要かつ必要なことであり、話し合う場の設定を積極的に推進すべきと考えますが、所見を伺います。

答弁市長 本市は、これまでも山梨県非核宣言自治体連絡協議会の会員として、平和パネル展の開催や懸垂幕の掲示などを行ってきましたが、本年は終戦から70年となる節目の年なので、例年の事業に加え、終戦を迎えた8月に戦争体験者による講演会を開催します。

多くの市民の皆様のみならず、お子さまにもご参加いただき、平和について、親子で話し合う機会にしていきたいと思います。



小林恵理子 議員
[日本共産党]

その他質問

- ◆改定された介護保険制度について
- ◆生活困窮者自立支援制度について
- ◆安全保障関連法案(戦争法案)について

国民健康保険制度の問題について

質問 国民健康保険制度は、高すぎる保険税などが問題となっています。政府は、国保財政の安定化として2015年度から保険者支援制度を拡充するとして1700億円の積み増しを行っています。全国では、この支援金を活用し、高すぎる国保料(税)を引き下げる動きが広がっています。そこで、本市の支援金の拡充額はいくらか、また国保税の引き下げに使用しないのか伺います。

答 市長 保険者支援金については、昨年度の保険料を基礎に試算すると約2千8百万円程度の増額になると思われます。また本市としては、改正の趣旨を踏まえ、現状では保険税の引下げに使う考えはありません。

道路問題について

質問 主要地方道荊崎昇仙峡線中央町地内歩道整備(フラット化)が進められています。隣接者から県の設計の縁石では高さがあり、高齢者がまたぐのに大変、車イスでの利用が無理なため、一部切り下げの要望が出されています。周辺で生活する人たちの意見に耳を傾け設計することは基本です。市の見解を伺います。

答 市長 中田町小田川地区の国道141号線の整備延長ですが、地元では柳原神社から先の国道整備を要望しています。カーブがきつく、交通事故が多発している場所です。県に整備の延長を要望することを求めます。

質問 市長 中央町地内の歩道整備について市として、歩行者の安全性確保は最優先と考えています。最小限の縁石切り下げは必要と考えています。

高齢者が活動しやすい環境作りについて

今後、隣接者の希望も取り入れていただけるよう要望していきます。

次に、中田町小田川地区の国道整備の延長についても、柳原神社から先の国道整備も県へ要望していきます。

質問 市長は、健康長寿全国一位を目指すことを掲げています。そこで高齢者が活動しやすい環境を整えていくために、地区公民館等のバリアフリー化推進のための補助制度を創設すること、身近な公園などに中高年のための「健康遊具」の設置を行い、健康づくりや老化防止に役立てることを提案します。

答 市長 現行の公園の施設やウォーキングコースを有効活用することで健康増進につながるものが可能と考えますので、新たな整備を行うのではなく、その活用法などの発信に努めていきます。

質問 教育長 公民館の分館は、全て各地区において自主運営及び施設の維持管理を行っていたいただいております。これまでどおり各地区でご負担をお願いしたいと思います。

研修報告

行政視察受入

7月28日、茨城県守谷市議会 議会運営委員会をはじめ、12名が来市されました。

研修会では、本市議員の市の審議会(執行部付属機関) 委員等への就任への見直しについてなど、議会改革への取り組みの経過を説明した後、両市の現状などを紹介しながら意見交換を行いました。



守谷市議会研修

行政視察

3常任委員会合同行政研修

- 定住促進事業の取り組みについて (7月7日・長野県大町市役所)
- ジオパーク推進の取り組みについて (7月8日・新潟県糸魚川市役所)

荊崎市議会議員一般選挙の選挙期日等が決定されました。

- 選挙の期日 平成27年10月4日(日)
- 選挙期日の告示 平成27年9月27日(日)
- 選挙すべき人員 18人
- 開票予定日時 平成27年10月4日(日) 午後9時10分～ 荊崎市営体育館

■荊崎市議会議員夏季研修

(8月4日・北杜市役所)

- 移住・定住促進の状況について
- 農業法人による大型ハウス栽培について
- 太陽光発電関係法令について

研修会

■山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)

(8月6日・アピオ甲府)

- 「人口減少社会」どう乗り越える 地方議会
- 講師…元全国都道府県議長会 議事調査部長 野村稔氏





こども議会 議員の皆さん（平成27年7月31日市役所5階議場にて）

市内の小学校5校から18名のこども議員が選出され、7月31日、市役所本庁舎5階議場において「こども議会」を開催しました。小学生の視点で、安全・安心なまちづくりや、活力を見出し、住み良い生活環境の整備を進めるための身近な課題などが質問され、市長をはじめ、執行部から答弁がありました。なお、こども議会の様子は、市ホームページで録画配信をしますのでご覧ください。

■問い合わせ：企画財政課企画推進担当
(内線355・356・357)

◇こども議員の紹介

(葦崎北東小)	小屋 忠士 議長		
(甘 利 小)	山本 真大 副議長		
(葦 崎 小)	内田 雅也 議員	田邊 雅尚 議員	
	岩下 愛実 議員	青柳 凛 議員	
(穂 坂 小)	保坂 勇樹 議員	佐藤 文哉 議員	
(葦崎北東小)	山本 一毅 議員	堀内 元太 議員	
	中川 綾音 議員		
(葦崎北西小)	奈良萌々夏 議員	深澤こころ 議員	
	内藤 佑 議員		
(甘 利 小)	向井ひかり 議員	大川 春哉 議員	
	中澤 沙衣 議員	新谷 葵 議員	

編集後記

国から地方のやる気が問われている中で、本市では「葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、施策・事業の創出、人材の掘り起こし等々、全庁が一丸となって具体的な取り組みを始めているところです。議会としましては、人が集まり、住んでみたい、住み続けたいと思われる「まちづくり」に有益な情報の収集に努め、活力を見い出すための意見を提案していきます。

さて、市議会議員一般選挙の投・開票日が10月

4日と決定されましたが、私たち議員の任期満了日は10月9日です。本市の一層の発展に資するため、今後も市民の皆様と力を合わせて、議員一同、議会活動を行なっていきます。

議会だより編集委員会

委員長	清水 一
副委員長	秋山 泉
委員	一木 長博
	森本由美子
	岩下 良一
	小林 伸吉
	西野 賢一

8月31日 開会
諸報告
市長所信表明

9月11日 代表質問・一般質問
14日 一般質問
15日 議案審議
各常任委員会
16日 財務常任委員会
18日 議案審議
委員会報告
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※委員会の傍聴を希望する方は、事前に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

9月定例会日程〈予定〉